

当別町第 7 次総合計画

町民アンケート集計結果

目次

アンケート実施概要	P.3	医療大学移転後の当別町のまちづくりで重要だと思うことは何ですか	P.12
性別/居住地区	P.4	町民はまちづくりにどの程度関わるべきだと思いますか	
職業/家族構成	P.5	町民がまちづくりに参加するために必要な仕組みは何だと思いますか	P.13
あなたは当別町にどのようなイメージを持っていますか 当別町は周辺地域（札幌市や石狩管内周辺市町村）と比べてどのような特徴がある町だと思いますか	P.6	地域活動やボランティア活動に参加したいと思いますか	
当別町の強みとして今後活かすべきものは何だと思いますか 10～20年後、当別町はどのような町であるべきだと思いますか	P.7	今後も当別町に住み続けたいと思いますか 当別町を表す言葉やキャッチフレーズとしてどのようなものをイメージしますか	P.14
将来の当別町はどのような人に選ばれる町になるべきだと思いますか 将来の当別町の人口についてどのように考えますか	P.8	将来の当別町のまちづくりについてご意見・ご提案があれば自由にお書きください	P.15
人口減少社会の中で、町が最も重視すべきことは何だと思いますか 若者が当別町に住み続けるために必要なことは何だと思いますか	P.9		
当別町に新しい人を呼び込むために必要なことは何だと思いますか 今後の当別町のまちづくりで最も重要なテーマは何だと思いますか	P.10		
北海道医療大学の移転についてどのように感じていますか 医療大学移転による町への影響として最も大きいと思うものは何ですか	P.11		

アンケート実施概要

- 調査の目的
当別町総合計画策定に向けて町民意向を把握し、計画策定の基礎資料とするもの
- 調査対象
当別町民
- 調査方法
アンケートフォームへの回答
- 調査期間
2026年5月30日～6月30日
- 回収状況
209件
- アンケート調査票
別添の通り

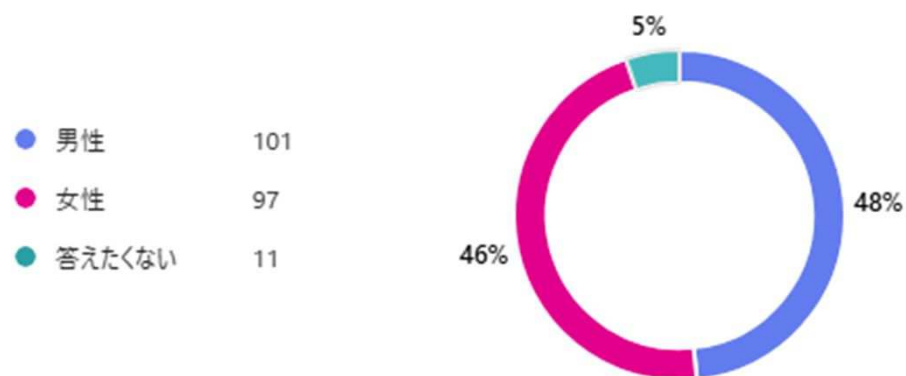
当別町総合計画策定のための町民アンケート調査

質問項目

3.性別

「男性」は101件、「女性」は97件の回答割合となっています。

アンケート結果まとめ

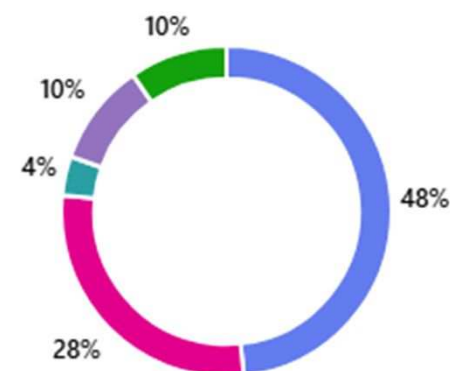
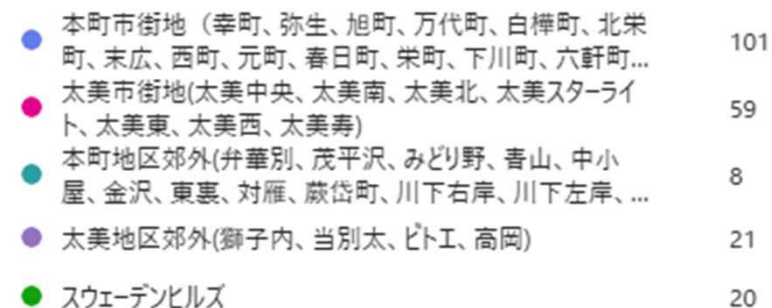


質問項目

4.居住地区

「本町市街地」が101件と最も多く、次いで「太美市街地」が59件となっています。

アンケート結果まとめ



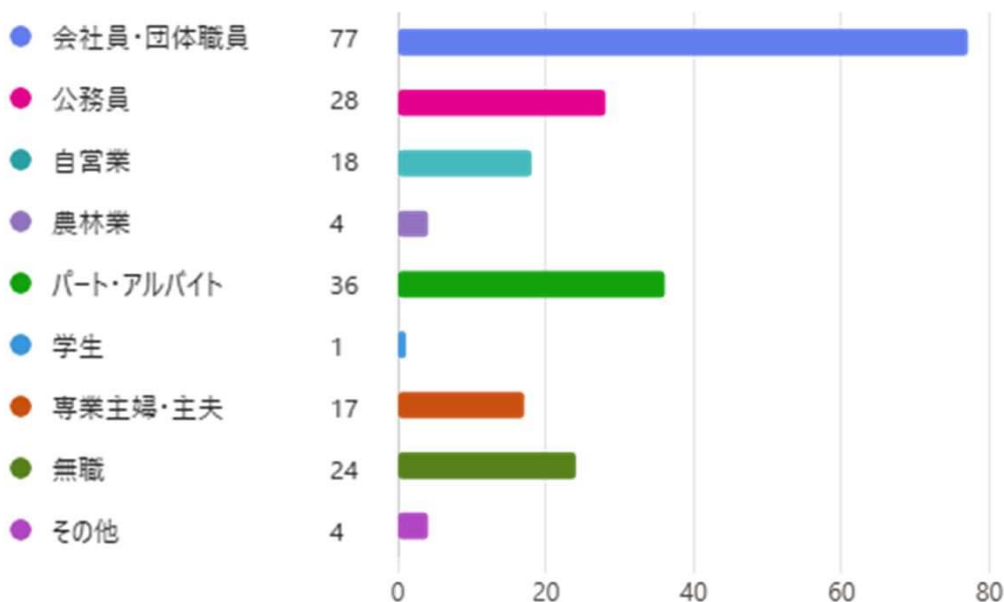
当別町総合計画策定のための町民アンケート調査

質問項目

5.職業

「会社員・団体職員」が77件と最も多く、次いで「パート・アルバイト」が36件となっています。

アンケート結果まとめ

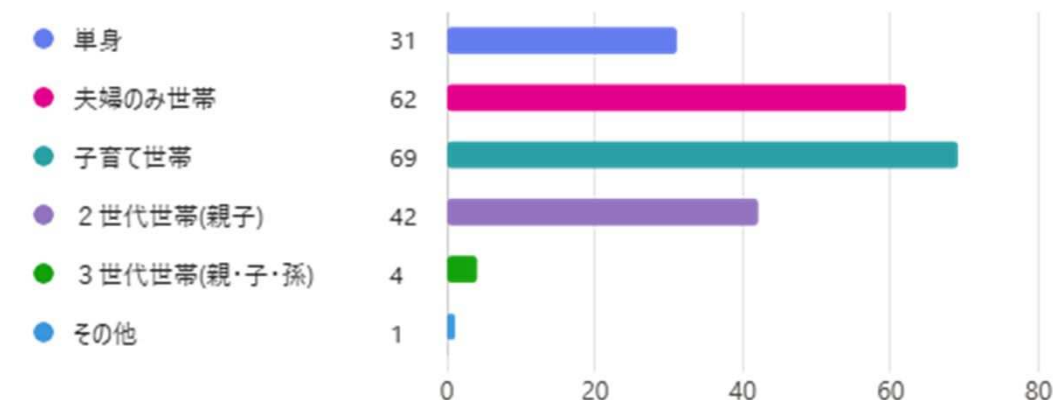


質問項目

6.家族構成

「子育て世帯」が69件と最も多く、次いで「夫婦のみ世帯」が62件となっています。

アンケート結果まとめ



当別町総合計画策定のための町民アンケート調査

質問項目

7.あなたは当別町にどのようなイメージを持っていますか

「雪が多い」が165件と最も多く、次いで「自然環境・田園風景が豊か」が157件となっています。

アンケート結果まとめ

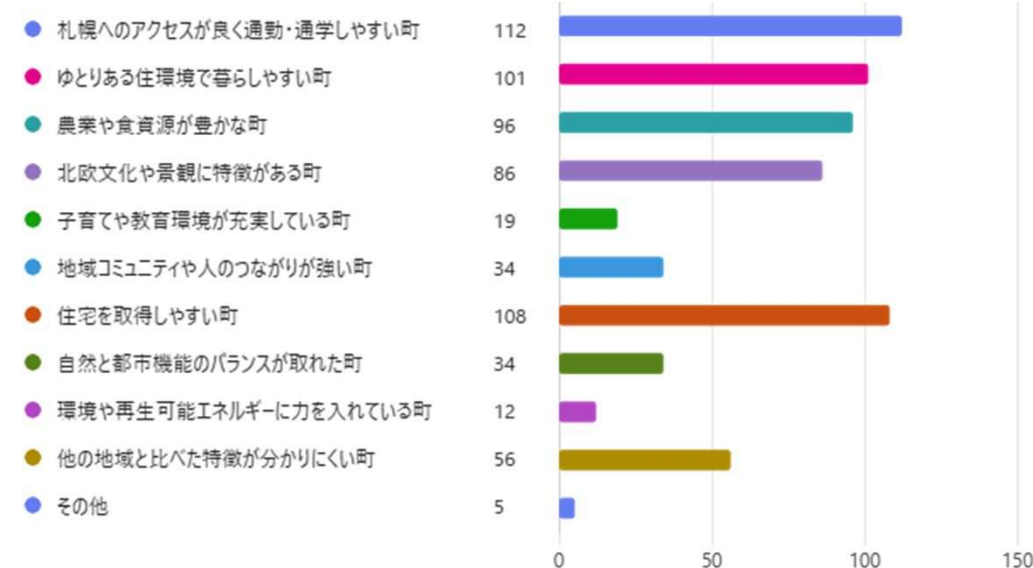


質問項目

8.当別町は周辺地域（札幌市や石狩管内周辺市町村）と比べてどのような特徴がある町だと思いますか

「札幌へアクセスが良く通勤・通学しやすい街」が112件と最も多く、次いで「住宅を取得しやすい街」が108件となっています。

アンケート結果まとめ



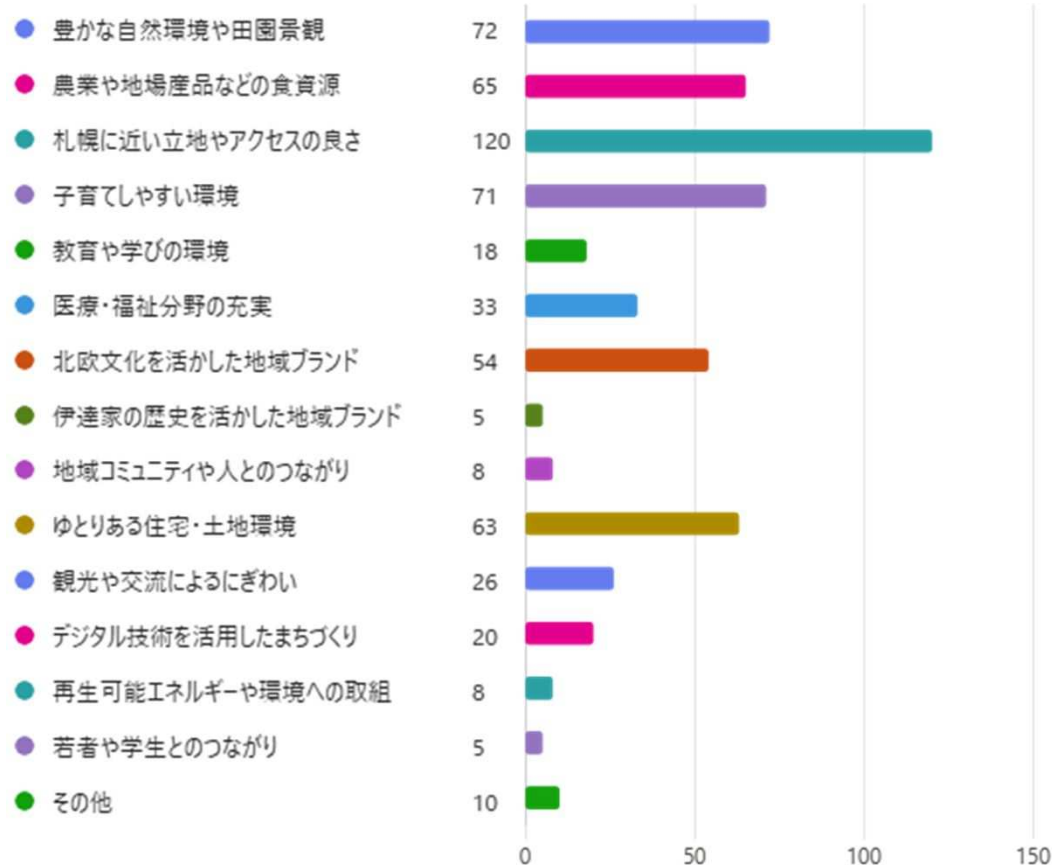
当別町総合計画策定のための町民アンケート調査

質問項目

9.当別町の強みとして今後活かすべきものは何だと思いますか※当てはまるもの3つ選択

「札幌に近い立地やアクセスの良さ」が120件と最も多く、次いで「豊かな自然環境や田園景観」が72件となっています。

アンケート結果まとめ



質問項目

10.10～20年後、当別町はどのような町であるべきだと思いますか※当てはまるもの3つ選択

「子育て世代が安心して暮らせる町」が116件と最も多く、次いで「若者が働き・活躍できる町」が79件となっています。

アンケート結果まとめ



当別町総合計画策定のための町民アンケート調査

質問項目

11. 将来の当別町はどのような人によられる町になるべきだと思いますか※当てはまるもの全て選択

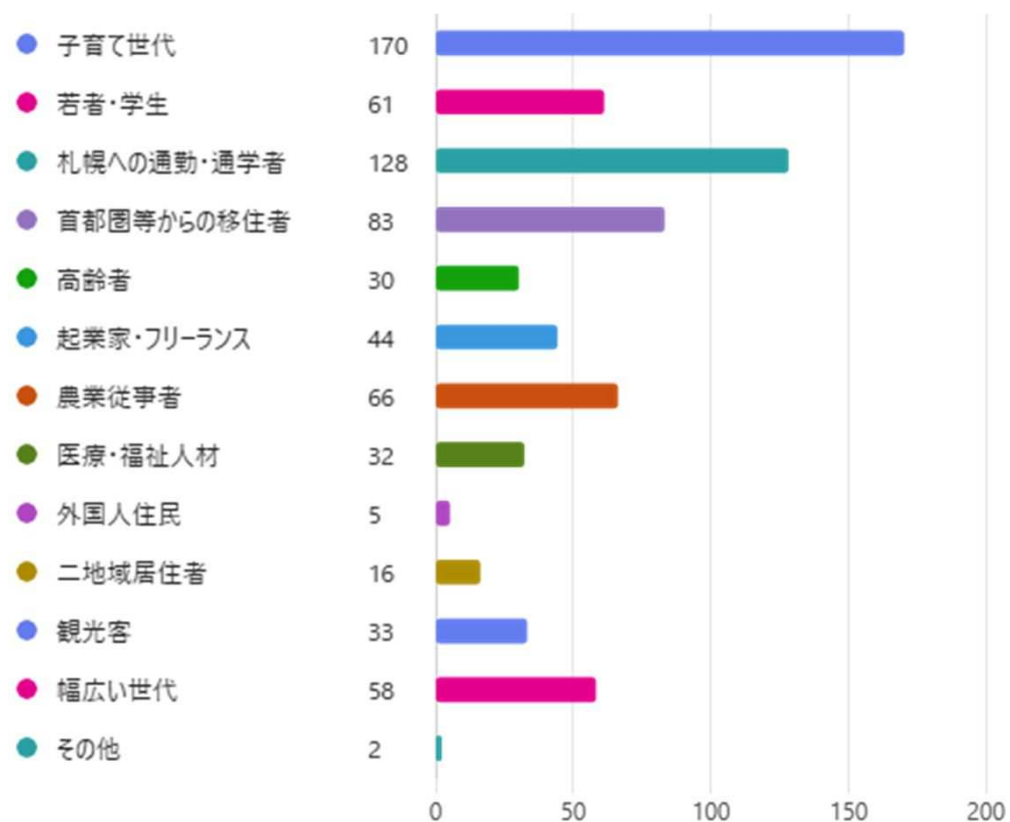
「子育て世代」が170件と最も多く、次いで「札幌への通勤・通学者」が128件となっています。

質問項目

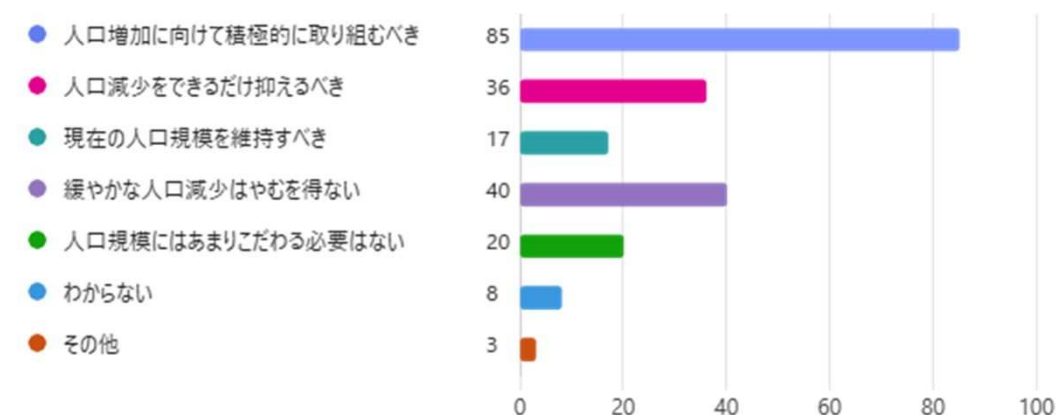
12. 将来の当別町の人口についてどのように考えますか※※当てはまるもの1つ選択

「人口増加に向けて積極的に取り組むべき」が85件と最も多く、次いで「穏やかな人口減少はやむを得ない」が40件となっています。

アンケート結果まとめ



アンケート結果まとめ



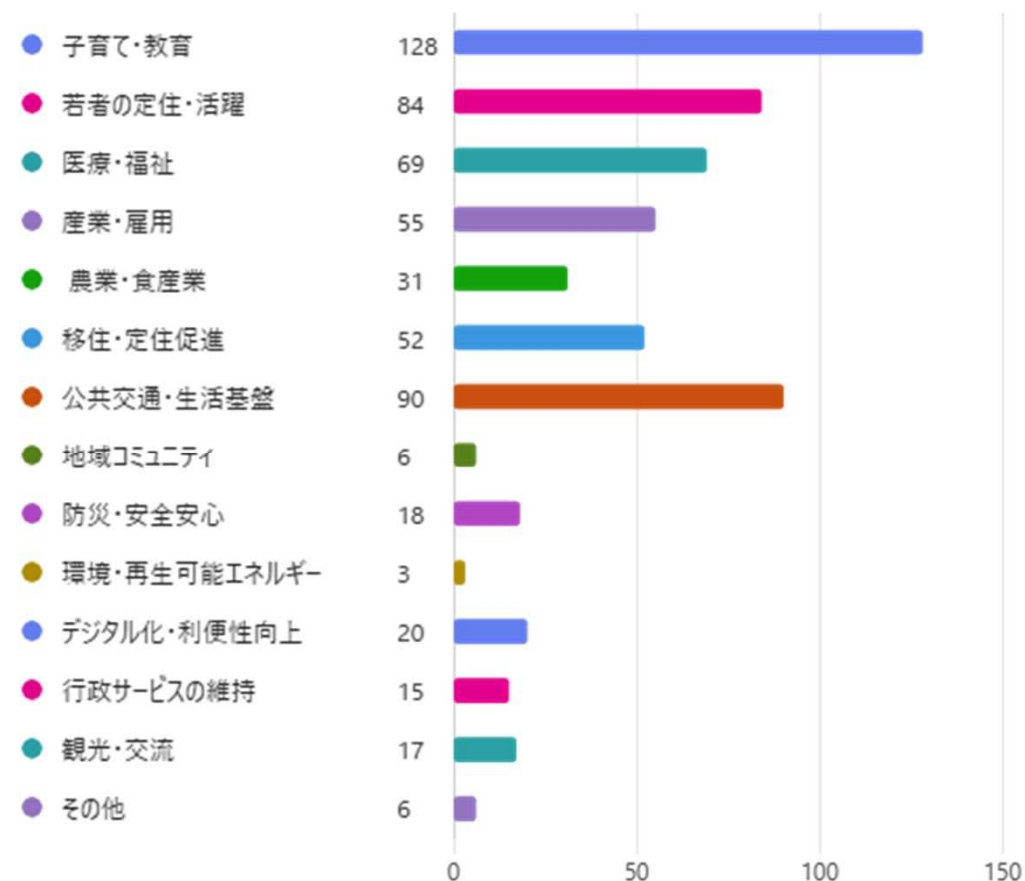
当別町総合計画策定のための町民アンケート調査

質問項目

13.人口減少社会の中で、町が最も重視すべきことは何だと思いますか※当てはまるもの3つ選択

「子育て・教育」が128件と最も多く、次いで「公共交通・生活基盤」が90件となっています。

アンケート結果まとめ

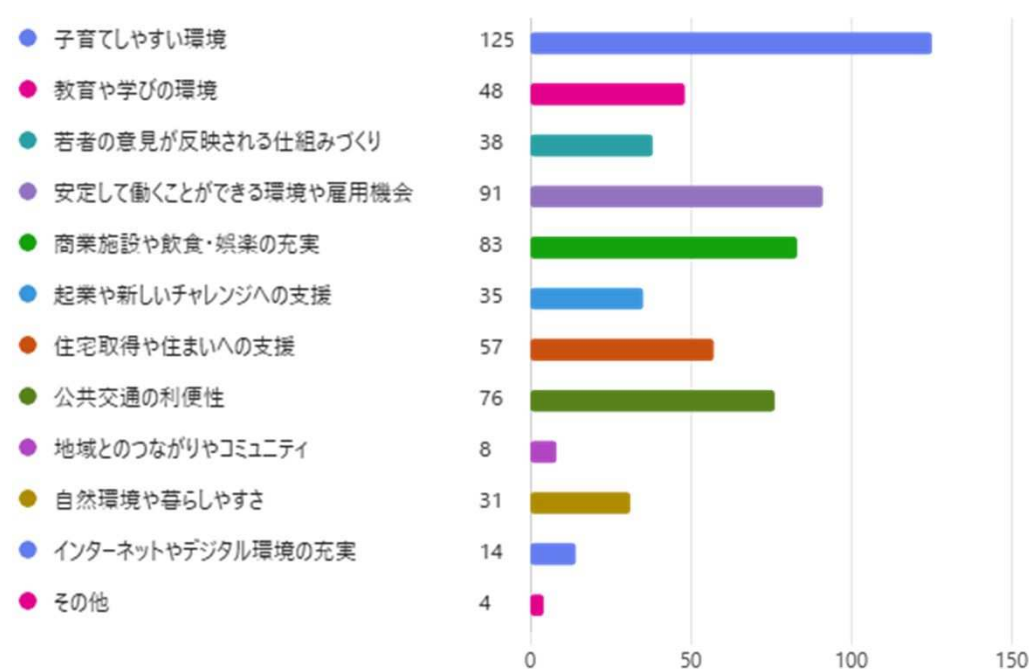


質問項目

14.若者が当別町に住み続けるために必要なことは何だと思いますか※当てはまるもの3つ選択

「子育てしやすい環境」が125件と最も多く、次いで「安定して働くことができる環境や雇用機会」が91件となっています。

アンケート結果まとめ



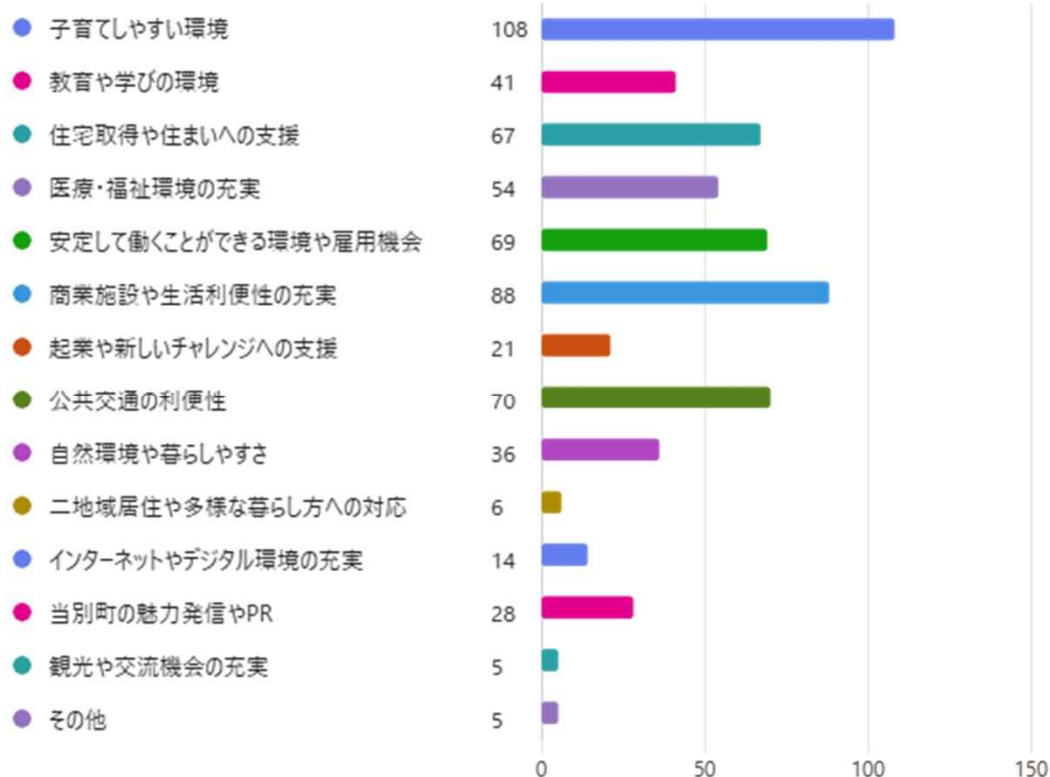
当別町総合計画策定のための町民アンケート調査

質問項目

15.当別町に新しい人を呼び込むために必要なことは何だと思いますか※当てはまるもの3つ選択

「子育てしやすい環境」が108件と最も多く、次いで「商業施設や生活利便性の充実」が88件となっています。

アンケート結果まとめ

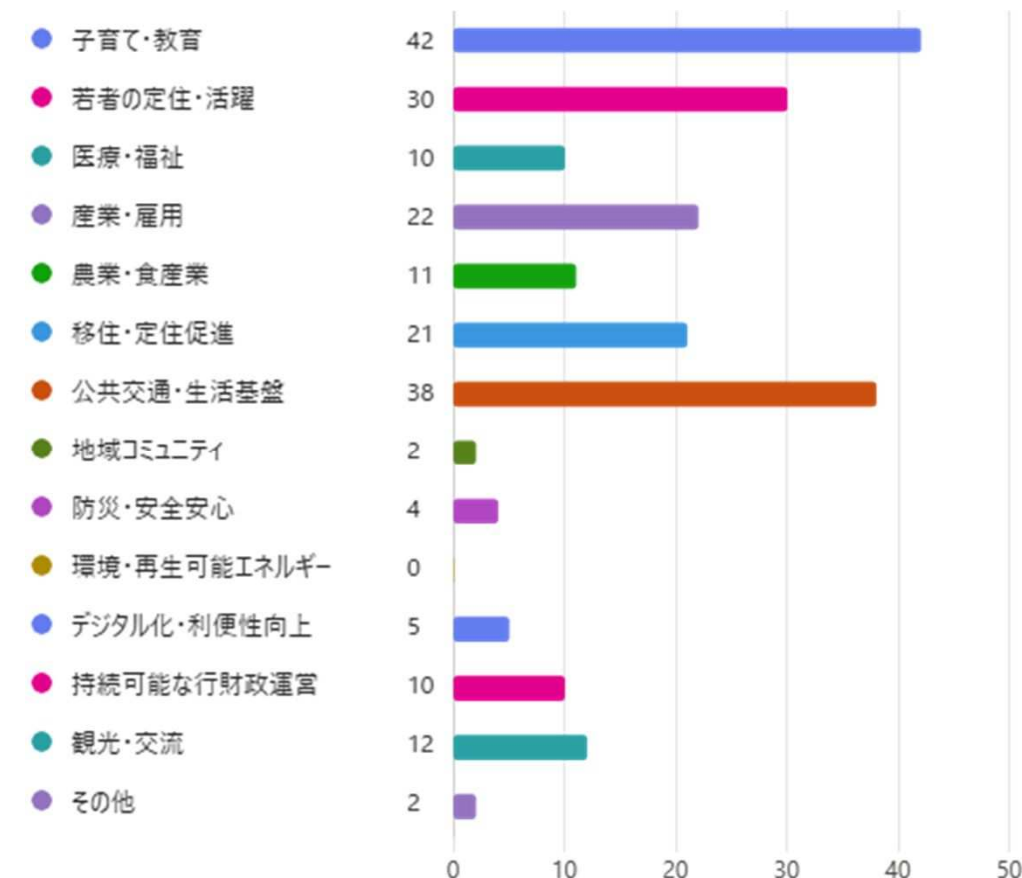


質問項目

16.今後の当別町のまちづくりで最も重要なテーマは何だと思いますか※当てはまるもの1つ選択

「子育て・教育」が42件と最も多く、次いで「公共交通・生活基盤」が38件となっています。

アンケート結果まとめ



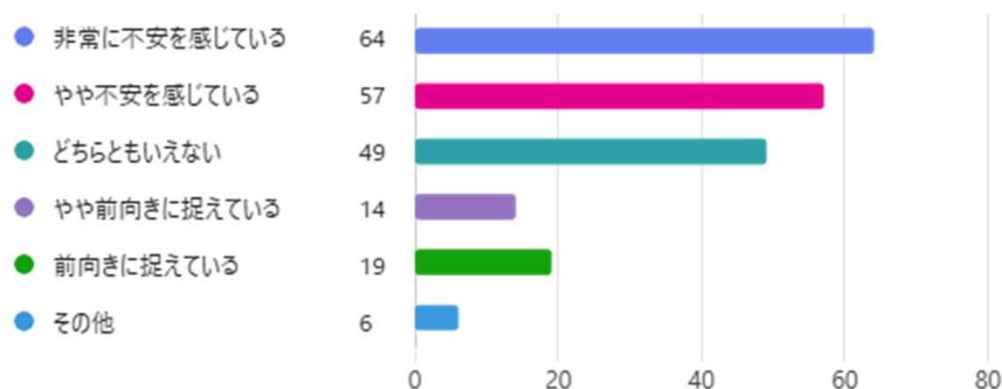
当別町総合計画策定のための町民アンケート調査

質問項目

17.北海道医療大学の移転についてどのように感じていますか※当てはまるものの1つ選択

「非常に不安を感じている」が64件と最も多く、次いで「やや不安を感じている」が57件となっています。

アンケート結果まとめ

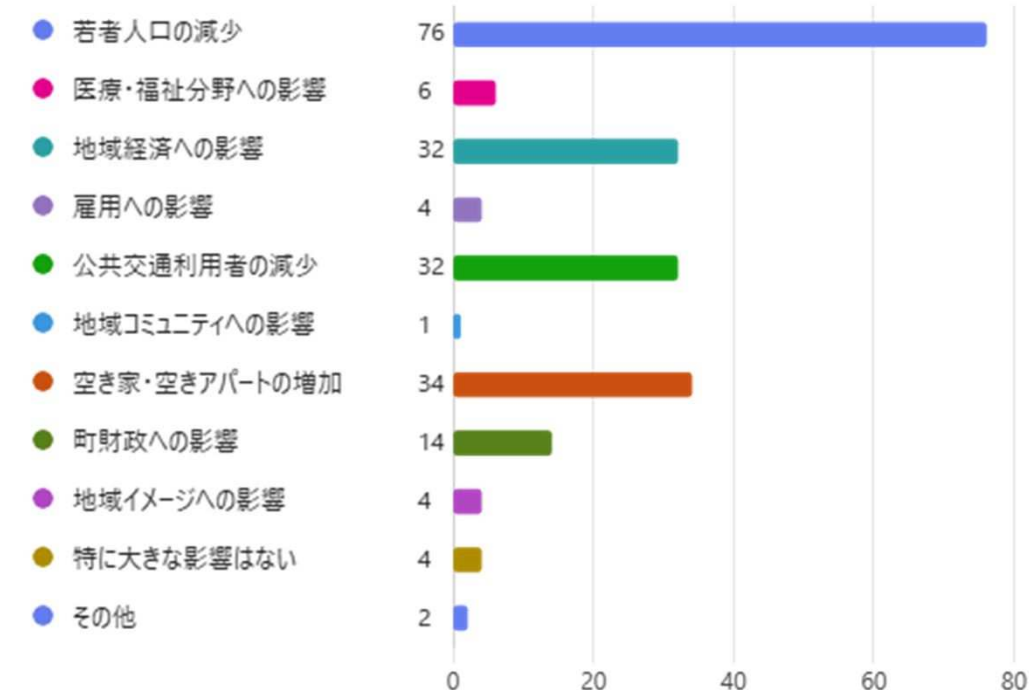


質問項目

18.医療大学移転による町への影響として最も大きいと思うものは何ですか※当てはまるものの1つ選択

「若者人口の減少」が76件と最も多く、次いで「空き家・空きアパートの増加」が34件となっています。

アンケート結果まとめ



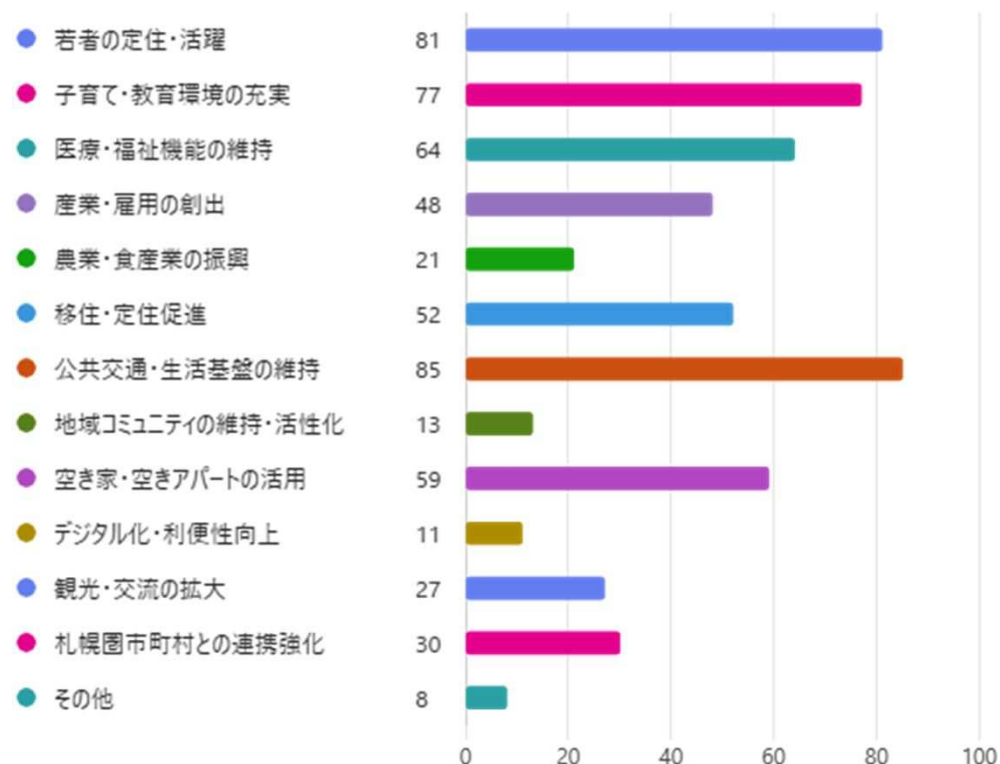
当別町総合計画策定のための町民アンケート調査

質問項目

19.医療大学移転後の当別町のまちづくりで重要だと思うことは何ですか※
当てはまるもの3つ選択

「公共交通・生活基盤の維持」が85件と最も多く、次いで「若者の定住・活躍」が81件となっています。

アンケート結果まとめ

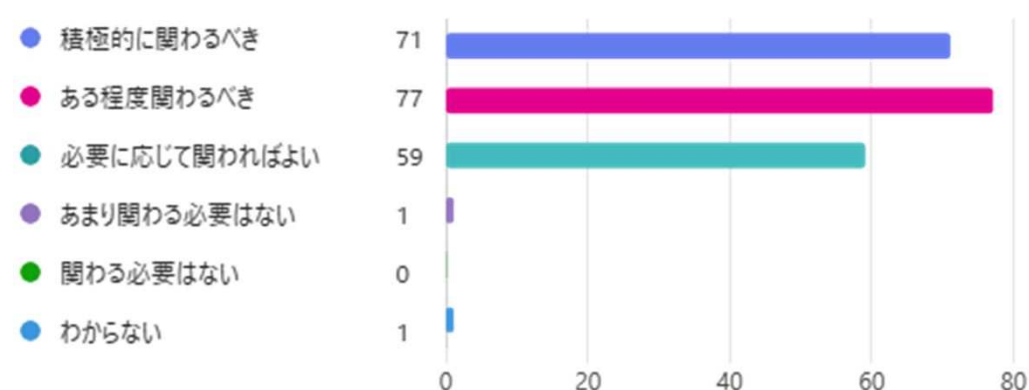


質問項目

20.町民はまちづくりにどの程度関わるべきだと思いますか※ 当てはまるもの1つ選択

「ある程度関わるべき」が77件と最も多く、次いで「積極的に関わるべき」が71件となっています。

アンケート結果まとめ



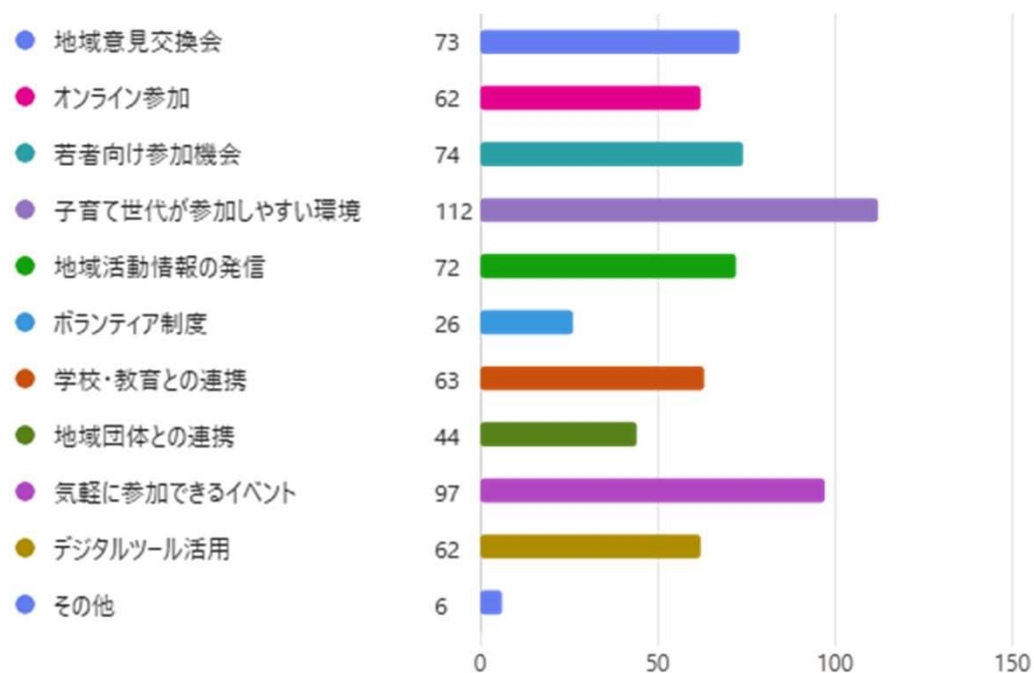
当別町総合計画策定のための町民アンケート調査

質問項目

21.町民がまちづくりに参加するために必要な仕組みは何だと思いますか※当てはまるもの全て選択

「子育て世代が参加しやすい環境」が112件と最も多く、次いで「気軽に参加できるイベント」が97件となっています。

アンケート結果まとめ



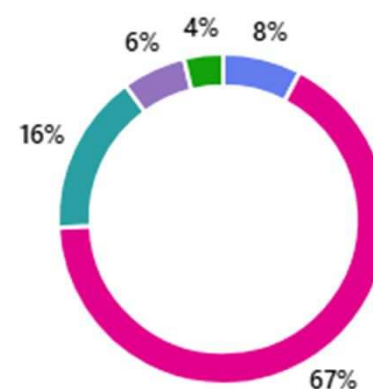
質問項目

22.地域活動やボランティア活動に参加したいと思いますか※当てはまるもの1つ選択

「機会があれば参加したい」が139件と最も多く、次いで「あまり参加したくない」が33件となっています。

アンケート結果まとめ

積極的に参加したい	16
機会があれば参加したい	139
あまり参加したくない	33
参加したくない	13
わからない	8



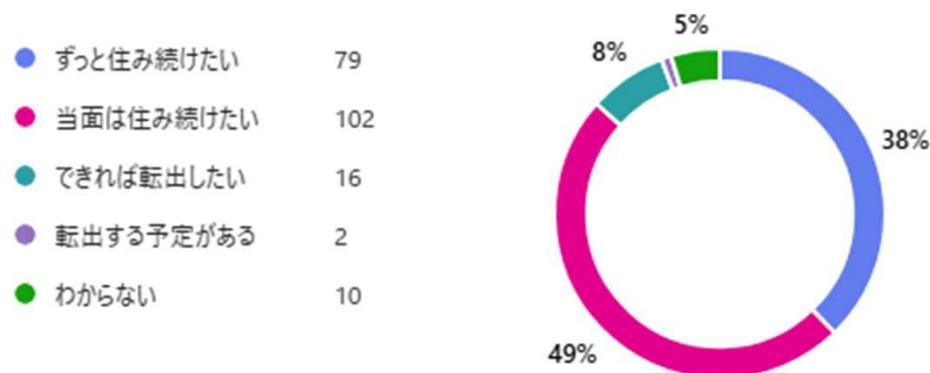
当別町総合計画策定のための町民アンケート調査

質問項目

23. 今後も当別町に住み続けたいと思いますか※当てはまるもの1つ選択

「当面は住み続けたい」が102件と最も多く、次いで「ずっと住み続けたい」が79件となっています。

アンケート結果まとめ



質問項目

24. 当別町を表す言葉やキャッチフレーズとしてどのようなものをイメージしますか

主要なキーワードをピックアップし、8つ程度のジャンルに分けて分類分けしています。

アンケート結果まとめ（一部抜粋）

- < 自然・景観 >
 - 豊かな自然、田園風景、田畑、農業、食、実りの大地、水資源、のびのび暮らせる
- < 環境・立地 >
 - 札幌に一番近い田舎町、札幌の隣町、通勤圏、ベッドタウン、都市の隣の田舎暮らし
- < 北欧・スウェーデン >
 - 北欧、スウェーデン、ノルディック、北欧の風、北欧文化、スウェーデンヒルズ、異国情緒
- < ちょうどいい田舎 >
 - ちょうどいい田舎、ちょうどいいまち、ゆったり、穏やか、落ち着く、スローライフ、ゆとりある暮らし
- < ロイズ・食・観光資源のまち >
 - ロイズ、チョコレート、道の駅、亜麻、じゃがいも、ふくろう、食べもの、美味しい食材
- < 福祉 >
 - 子育てしやすい、子どもと年配者に優しい、安心安全、町民福祉、ゆりかごから墓場まで
- < 気候 >
 - 豪雪、雪が多い、雪に強い、除雪がきれい、風が強い、雪を逆手に
- < その他 >
 - 古いもの新しいものが入り混じった街、ピンチはチャンス、鉄路のある町、（雪、医療大、高齢化等）苦境を跳ね返す、個性派揃いの飲食店、特になし、思い浮かばない、認知度が低い、古い街、封建的、垢ぬけたキャッチフレーズが必要

当別町総合計画策定のための町民アンケート調査

質問項目

25. 将来の当別町のまちづくりについてご意見・ご提案があれば自由にお書きください

アンケート結果まとめ（要約）

※件数については、1つの回答を複数カテゴリに重複計上する方式にて集計

※自由回答数120件、未回答数89件、延べ回答数231件

① 交通・公共交通の確保に関する意見（28件）

JRの維持・利便性向上に関する意見が多くみられた。特に、北海道医療大学移転後の便数減少や廃線への懸念、冬季運休時の代替交通の確保、駅までのアクセス改善、広域交通の充実などが挙げられており、当別町の暮らしを支える基盤として交通環境の重要性が強く認識されていることが伺える。

② 子育て・若者定住を支える生活環境整備に関する意見（38件）

子育て世帯の暮らしやすさに直結する生活環境の充実を求める意見も多くみられた。具体的には、公園や屋内遊び場、児童館、図書館、放課後の居場所などの整備に加え、子どもが日常的に安心して過ごせる環境づくりを求める声が挙げられている。子育て支援を通じて若い世代の定住につなげることへの期待が大きい。

③ 商業・娯楽・買い物機能の充実に関する意見（46件）

買い物環境や飲食・娯楽機能の不足を指摘する意見が目立った。スーパーや飲食店、ファミリー層が利用しやすい店舗、若者向けの娯楽施設、学習や滞在ができる場所などを求める声がみられ、日常生活の利便性向上が定住促進の前提として捉えられている。とりわけ太美地区や西当別地区に関する具体的な要望がみられた。

④ 北海道医療大学移転を見据えた跡地活用・雇用創出に関する意見（20件）

北海道医療大学の移転を踏まえ、跡地を有効活用し、新たな雇用や交流を生み出す拠点とすべきとの意見がみられた。具体的には、教育機関、医療機関・研究機関、企業・工場、商業施設などの誘致を求める提案が挙げられており、移転後を町の再構築に向けた転機として捉える考え方がみられる。

⑤ 当別町の強みとして認識されている資源（36件）

当別町の魅力としては、札幌圏へのアクセスの良さ、豊かな自然環境、農産物の魅力、そして除排雪体制の充実を評価する意見がみられた。特に、雪が多い一方で除雪が行き届いている点は、移住促進や町のイメージ向上に活かし得る強みとして認識されている。

⑥ 景観整備・情報発信・ブランド形成に関する意見（38件）

一方で、当別町の魅力や特色が十分に伝わっていないという課題を指摘する意見もみられた。田舎というイメージの払拭、景観や道路環境の改善、雑草管理や美観向上、SNS等を活用した情報発信の強化、町の特色を分かりやすく打ち出す取組など、見せ方・伝え方の改善を求める声が挙げられている。

⑥ その他（上記以外の意見）（25件）